2024-2025 年度主題

国際会長　ジャナヴァスカーン　(インド)
「よりよい世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長　ジョウン・ウオン（香港）
「大きなインパクトを起こそう」

東 日 本 区 理 事　山田 公平（宇都宮）
「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部長　久保 勝昭（横浜つるみ）
“Support Each Other～Enjoy Together”
「共に支え合い～共によろこびを」

ク ラ ブ 会 長　渡邉 光枝（横浜つるみ）
“良きつながりを持って”
心ひとつに「無理の無い活動を」

第 27 回横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーランを終えて
大会実行委員長あいさつ　２回目の感謝

2004 から 2005 年､の 20 年前､ワイズメンズクラブ湘南･沖縄部の部長に就いていて、横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーランの実行委員長を務めました。この感謝 の文を書くにあたって当時を思い出しています｡今より 20 歳若かったのでレースにも参加 して思いもかけない目にあったこと、若かったので実力以上で走ってしまったこと。そのことで何日か仕事にならなかったことなど、痛い思い出と大変楽しい時間を持てたことに感謝でした。1987 年国際賛助会が全国で初めて、このイベントを東京で開催したそうです。今や YMCA インターナショナル・チャリティーランとして全国 21 カ所で実施されていて年間約 12,000 人がランナーやボランティアとして参加していること､また参加費や、ご寄附は YMCA が 全国の障がいのあるこどもたちの為の特別支援プログラムに充てられていると聞いて、この イベントが活発に、また引き続き永く続くように働き掛けたいと同時にワイズのメンバー増強(若い人)にも力をいれて行きたいと思いました。10 月 1 日に配信された開会式の動画も少し緊張しましたが、何とかこの大会の素晴らしさや意義のある大会に、ランナーやボランティアの皆さんが、頑張れるように考えた“カモ ン！”ガッツ！のかけ声は伝わったでしょうか？ オンライン大会 10 月 2 日～16 日（15 日間)、リアル大会が 10 月 19 日に実施されました。リアル大会は①一般②スペシャルラン③幼児④小学生の競争で、それぞれが入賞をめざし元気いっぱいに走る姿を目の前にして自分も 20 年前のことを思い出し、少し若返りました。 今回事情があって走ることができなかったのでスタートのピストル役に徹しましたが、ラン ナーの一生懸命に走る姿を見てピストルを持つ手にも自然と力が入りました。会場を見渡すと 本部テントの前に人が沢山いるのが見えたので近よってみると、パリ 2024 パラリンピック競技大会競泳メダリスト富田宇宙選手の姿が見えました。競泳男子 100mバタフライ・男 子 400m自由形の銅メダルが２個光っていました。触れてみると汗と努力の結晶の重みが伝 わってきました。今年度から全国 YMCA インターナショナル・チャリティーラン大会委員長を務められている富田宇宙選手、閉会式の言葉にはご苦労と経験の力強さがありました。 今回のオンライン大会、参加人数は 94 名、グループは 14G 個人の１位：まりこ 472,716 歩、２位：エムキチ：440,680 歩、３位：ロクさん・403,390 歩と、なっています皆さん 40 万歩を超えています。一日平均“２万７千”歩以上、大脅威！！ 最後に、私の所属する「つるみワイズメンズクラブ」は 16 位： 純 子・256,778 歩, 43 位：久保 勝昭・171,994 歩、 55 位：イモポン・153,320 歩、77 位：ウ バ ポ ン・107,032 歩、 96 位：や す こ・ 63,715 歩、グループ：10 位/15G中、つるみクラブの年齢は書かないが、クラブの年齢からするとこれも脅威的な歩数でした。

表彰者と久保委員長（左）

オンライン大会は 10 月 16 日、リアル大会は 10 月 19 日に閉幕。
どちらも盛大にそして楽しい大会でした。これからも応援して行きたい。

第 27 回大会実行委員長 久保 勝昭
（ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部長）

≪つるみクラブ　12月例会≫

日時：2024/12/12(木)16:00～18:00
場所：鶴見中央地域ケア地プラザ・多目的ホール
出席：久保、久米、駒井、中村、野辺、
　　益所長、松井、横山、吉本、渡邉、
欠席：新改、村中、日野
ゲスト：デイサービス　北川

プログラム

「司会進行」　松井　　ピアノ：吉本
「開会点鐘」　渡邉
※ワイズソング・ワイズの信条　全員
1，会長挨拶　渡邉

「報告事項」

- 11/24(日)「大和クリエイティブＹサービスクラブ」チャーターナイト 参加者72名
  当クラブ出席：久保、渡邉、中村
- 11/3(土)湘南・沖縄部第２回評議会とつかＹ
  出席：会場17名、委任状12名、Zoom1名
  当クラブ：久保、渡邉、松井、久米、中村
- 12/3(火)第104回Y-Y's協議会　中央Ｙ
  出席：21名（益担当主事、久保、渡邉、中村）
- 12/7(土)厚木クラブ20周年記念パーティー
  出席：29名(久保、渡邉、松井、吉本、久米、中村)

「YMCA報告」益 所長ご挨拶

- 12/16(月)募金活動の協力依頼
- 12/21(土)クリスマス礼拝のご案内
- デイサービスボランティアのお願い
- ちょこっと助け隊

11月活動報告･･･
- 換気扇掃除　３件
- エアコン掃除　１件
- 通院同行　１件
- 枝ひろい　１件
- ネット張り　１件

依頼＆検討･･･････
- タンスドア修理　１件
- ゴミ屋敷掃除　１件
- 換気扇掃除　１件

「連絡事項」

- 12/17(火)チャリティーラン実行委員会
- 12/18(水)大和クラブ 第１回例会
- 2025/1/9(木)つるみクラブ新年例会
- 2025/1/12 東本郷地域ケアプラザ うたごえ
- 2025/1/17(金)北Ｙうたごえ広場)
- 2025/1/18(土)YMCAとワイズの新年会
  時間：18時～20時　会費：5,000円
- 2025/2/8(土)鎌倉クラブ例会
  （部長クラブ訪問最終）時間未定

「うたの広場」

曲目：喜びも悲しみも幾年月、北の宿から、昴
　　雪の降る街を、襟裳岬、もろびとこぞりて
閉会点鐘」

久保部長が、ご馳走してくださったケーキとコーヒーをいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。おいしかった（^o^）

（2024年12月 データ）

在籍会員数	例会出席者数		出席率
13名	メンバー	11名	84%
	ゲスト	1名	
	合　計	12名	

☆ワタミツのつぶやき☆

駅前で男性が一人座って路上ライブをやっていました。
歌詞の内容は、I say goodbye、うまくいかないことばかりの日も、昨日までの自分にさよなら、全てうまく行くさ。幸せな未来が待っている、です。
さあ、背筋を伸ばしてボランティア活動。

（つるみクラブ会長　渡邉光枝　記）

YMCA便り

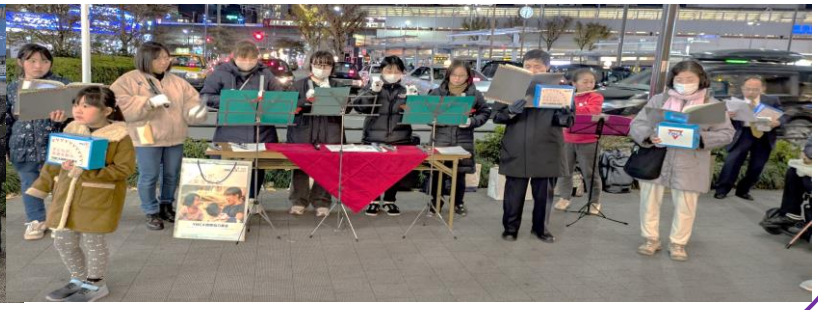
１２月１６日、鶴見駅東口にて、YMCA 国際地域協力募金を募る街頭募金を行いました。毎年この時期に鶴見エリアにあるYMCA（鶴見中央YMCA、生麦地域ケアプラザ、ライフサポートセンター鶴見、YMCA つるみ保育園）が合同で、クリスマスキャロリング兼街頭募金を実施しております。今年は、午前１０時と、午後６時の２部に分けて実施しました。

私は午前１０時の回に参加しました。午前はYMCA つるみ保育園の園児も参加し、街頭募金の呼びかけを一緒に行い、３曲のクリスマスソングを歌ってくれました。

午後６時からの回では、スタッフによるフルート、鶴見教会の方のハーモニカ、YMCA つるみ保育園スタッフによるトーンチャイムの演奏とともに、クリスマスソングを歌いながら、街頭募金を実施することができました。

当日、ご参加いただきました横浜つるみワイズメンズクラブの皆様、ありがとうございました。

（鶴見中央YMCA　益　聡）



うたごえひろば！

12月12日（木）14:00～15:30
つるみワイズメンズクラブによる
「うたごえ広場」を、ピアノと
ギターの伴奏で実施しました。
皆さん懐かしい歌を歌いました。

昭和歌謡曲中心に楽しみました♪

唱歌、童謡、懐かしの昭和ヒット歌謡曲まで、約17曲を皆さんで歌いました。
楽曲が発表された時、皆さん、それぞれの時代背景の思い出がきっとあると思います。
懐かしさに包まれた穏やかなひと時となりました。（鶴見中央地域ケアプラザ　横山 裕二）

ツルのひとこと

⑧ 車内風景今昔

最近気が付いたことがあります。

それは電車に乗った時の車内風景です。先日久し振りに読書をしている中年の人を見ました。
今はいつの時間帯でも大多数の人がスマフォに集中しています。以前は新聞を見たり、本を読んでいましたがたまに通勤時間帯に乗ったときでもけっこうイヤフォンをしてスマフォを使用している人ばかりです。
以前は通勤時間帯で新聞をあまりたたまずに広げて読んでいる迷惑な人もいてトラブルに発展したケースもそこそこありました。そのケースは今はありませんが
現在書店の廃業が増えているし、最近では夕刊フジというタブロイド紙が休刊になりましたが、この状況をみると納得する。駅の売店での特に朝の新聞や週刊誌の売り上げはずいぶん変化したのだろう。
まず購入している所を見たことがない。
本や新聞からの情報取得も、字を覚えたり、物事を考えるうえでは必要な事だとも思う。
そう言っている私もついスマフォ中心の情報収集になってしまう。
便利なのには間違いがないので･･･。　　（野辺良一　記）

「横浜市中区寿地区の歴史」

5 年前に世間がコロナ禍問題で溢れている頃に、寿地区の歴史を知ることになった。横浜つるみワイズメンズクラブでも会員全員がマスク不足に、取り組む事になりました。
マスクに適した特殊生地を購入し、各自手分けして 100 枚を作り、全員集合して、委員会に寄贈した。その一部が、寿地区の協会を通じて、配布されたことで、感激して頂き、当時女性牧師様が、寿地区の見学ツアーをして下さいました。
当時マスクが、不足しており Y's の委員会が、寿地区の住民に一人一人手渡された事で、数回に渡りマスク不足に、委員会が寄与した。寿地区の歴史を知る事で、ニュースに出ない特殊事情を身近な知識として、深めることになりました。以前から知識は、寿地区のイメージが良いものではなく、むしろ危険地区の記憶が強かった。現在はすっかり様変わりして、すっきりとした町並みがあった。
いろんな人が寿地区に、集まってくる現実は、特殊事情があった。
横浜市が、70 年代以降、住所を持たない人でもドヤにいれば、そこを住所とみなし、生活保護を支給する「居宅保護」の制度を採用している訳があった。全てを何かの理由で失った人々にとっては、最後の逃げ場所であり、住む家がなく、身寄りがない人、家族と連絡を取らない事情のある人、そうして社会的に排除された人、前途を失った人たちが、僅かな光を求めて寿町に辿り着く。
ここでなら何とか光を、求めて生きていける可能性を求めて、海外の人も寿町事情を知り、頼るといわれる。日雇労働も、平等な機会を求めて集まる。実際に毎年 500 人程が亡くなって行くのに、

炊き出し風景

町の人口は、6500 人あまりと、変化が見られない。医療相談室によると、アルコール依存症が、0 といわれる。自販機から酒類を、排除して町の美化活動を、進める事で、一般公衆浴場、職業相談、医療相談室、自立生活の支援、社会参加活動、住民相互の交流を深めることで、福祉の向上に寄与する。
特に炊き出しは、毎週金曜日に実施されている。炊き出しの会に参加するには登録が必要です。炊き出しの会については、次回にお知らせいたします。
（久米　康子　記）